



【いじめをしない させない 見逃さない 白根小】

新潟市立白根小学校 学校だより

令和6年9月号

# 白小だより

【教育目標】  
ゆたかに  
かしこく  
たくましく

【白根に生きる子ども～白小を大好きな子 白根を愛する子 白根を考える子～】を目指して!

## ～令和6年度＜前期学校評価＞のお知らせ～

今年度は、「いじめをしない させない 見逃さない居心地のよい白根小」を目指して、「令和6年度 白根小学校教育ビジョン」に基づき、教育活動を行ってきました。このたび、前期学校評価の概要についてまとめましたので、お知らせいたします。

今後も、白根小学校「いじめ未然防止方針」による取組を通して、「いじめをしない させない 見逃さないための取組」を一層進め、教育活動の充実に努めてまいります。

### <こころ>

#### 【重点項目①】 いじめをしない させない 見逃さない 白根っ子の育成

〈参考評価1〉(子どもアンケート)

◆自分にはよいところがあります。

【肯定的評価】86%

◎86%の児童が「自分にはよいところがある」と答えています。

◆各学級で支持的風土の醸成を意図した取組を進めます。また、「自分にはよいところがありません」「まったくない」を回答している子どもたちの見守りを行っていきます。

〈参考評価2〉(保護者アンケート)

◆学校は、「いじめをしない させない 見逃さない白根っ子」を目指した取組を積極的に行っている。

【肯定的評価】95%

◎保護者の皆様の肯定的評価は95%です。

◆いじめ未然防止授業やいじめ見逃しゼロ集会を通して、児童、教職員ともに、いじめと正面から向き合う意識が浸透してきています。今後も継続して取り組みます。

〈参考評価3〉(保護者アンケート)

◆学校は、自分も相手も大切にしていって、よりよくかかわり合うための取組を行っている。

【肯定的評価】95%

◎保護者の皆様の肯定的評価は95%です。

◆全校でのいじめ未然防止の取組や、道徳の授業などを通して、児童の人権意識が高まっています。今後も指導を継続していきます。

〈参考評価4〉(保護者アンケート)

◆学校は、「白根に生きる子ども」を目指した活動に積極的に取り組んでいる。

【肯定的評価】98%

◎保護者の皆様の肯定的評価は95%です。

◆総合的な学習の時間などで、白根の地域や白根小ならではの「ひと・もの・行事」と関わる活動を継続して行っています。

## <まなび>

### 【重点項目】 「協働的に学ぶ児童の育成を目指す授業の充実」

#### 〈評価項目5〉(子どもアンケート)

- ◆授業で、友達の考えを受け入れたり、友達の考えから学ぼうとしていたりしています。

【評価結果】 A (93%)

- ◎93%の児童が「友だちの考えをよく聞いたり受け入れたりしている。」と答えています。
- ◆ペアやグループ活動などの子どもたちが考えを交流する場を設けていきます。また、友達の考えのよさに目を向ける言葉かけや活動をしたり、子どもたち同士の考えをつなぐ時間を設けたりしていきます。

#### 〈評価項目6〉(教職員アンケート)

- ◆ICTを活用して、考えを広げ深める授業をデザインしている。

【評価結果】 A (94%)

- ◎教職員の肯定的評価は、94%です。
- ◆今後、各学年で行う授業研究を通して、学び方を選択でき、考えを深める児童の姿を共有していきます。また、そのための手立ての検討・共有を行っていきます。

#### 〈評価項目7〉(こどもアンケート)

- ◆「白根小学校のiPadのやくそく」を守り、学びを深めるためにタブレットを使っています。

【評価結果】 A (97%)

- ◎97%の児童が、「白根小学校のiPadのやくそく」を守り、学びを深めるためにタブレットを使っていると答えています。
- ◆タブレットの正しい使い方の徹底を続けます。さらに、授業や学習活動での効果的なタブレットの使い方を学べるようにしていきます。

#### 〈参考評価8〉(保護者アンケート)

- ◆学校は、「協働的に学ぶ児童」の育成を目指した授業づくりに取り組んでいる。

【肯定的評価】 95%

- ◎保護者の皆様の肯定的評価は、95%です。
- ◆今後もペアやグループ活動などの子どもたちが協働して学ぶ場を設けていきます。また、9月からの各学年での授業研究を通して、タブレットの効果的な使い方について、検討と共有を行っていきます。

## <からだ>

### 【重点項目】 規則正しい生活を送るための「健康指導」の実施

#### 〈評価項目9〉(子どもアンケート)

- ◆「元気アップウィークで、「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組むことができました。

【評価結果】 A (94%)

- ◎94%の児童が、家で決めた「メディアのやくそく」を守っている」と答えています。
- ◆子どもたちが継続して、規則正しい生活を送ることができるように、声かけを行っていきます。

〈参考評価 10〉（保護者アンケート）

- ◆学校は、規則正しい生活を送るための健康指導に取り組んでいる。

【肯定的評価】 96%

- ◎保護者の皆様の肯定的評価は95%です。
- ◆元気アップウィーク期間以外でも、「健康指導」を行っていることを、保護者の皆様にも伝えるように、ほけん便りやHP等で「健康教育」に関する情報を発信していきます。

【重点項目】 楽しみながら運動に取り組む活動の充実

〈評価項目 11〉（子どもアンケート）

- ◆体育の授業で、自分に合ったためあてに向かって楽しみながら挑戦することができました。

【評価結果】 A (93%)

- ◎93%の児童が、体育の授業で、自分に合ったためあてに向かって楽しみながら挑戦することができたと答えています。
- ◆めあてカードの作成等について、からだ部を中心に情報共有を継続して行っています。

〈さぼーと〉

【重点項目】 自己選択・自己決定を尊重した多様性を認め合う環境づくりの推進

〈参考評価 12〉（教職員アンケート）

- ◆特別支援研修が、自学級の児童の環境づくりに活用でき、有効であった

【肯定的評価】 100%

- ◎教職員の肯定的評価は100%です。
- ◆特別支援教育研修会で紹介した「まなび教材」や「研修動画」等を、より効果的に活用できるように、さぼーと部で定期的に情報を発信していきます。

【重点項目】 一人一人に寄り添う特別支援教育の推進

〈評価項目 13〉（教職員アンケート）

- ◆定期的な情報共有の場としての特別支援校内委員会や、通常学級における特別支援会議（きらきら会議）が、児童理解のための情報交換と共通理解の場として、有効であった。

【評価結果】 A (100%)

- ◎教職員の肯定的評価は100%です。
- ◆さぼーと部担当と教職員が、個別の指導計画をもとにしながら、チームで児童理解を深め、よりよい支援を検討し、実践していきます。

〈参考評価 14〉（保護者アンケート）

- ◆学校は、一人一人に寄り添う支援や安心して過ごすことができる環境作りに取り組んでいる。

【肯定的評価】 91%

- ◎保護者の皆様の肯定的評価は91%です
- ◆後期も、不安がある子どもたちや保護者の皆様に、学級以外にも一人ひとりに合った居場所があることを継続して示していきます。

【保護者の皆様へ～いじめ見逃しゼロのために複数のセンサーで！！～】

- ★今後も全職員で、「いじめの見逃しゼロ」を目指して、学校生活において日常的な見守りや支援を行っていきます。しかしながら、1日の大半を過ごしている学校生活においても、学校職員だけでは把握できない状況は起こりえます。また、SNS 上での「ネットいじめ」など、学校生活以外の場においてもいじめは起こります。子どもたちの様子などから、「あれっおや?」「なにかおかしい」「気になる・・・」等のご心配、ご不安なことがありましたら、是非、学校にご相談ください。
- ★「いじめ見逃しゼロ」、そして、「いじめの未然防止」において、保護者や関係機関、地域など皆で取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【参考資料】白根小学校「いじめ未然防止方針」を再掲いたしました。こちらの方針に基づき、今後も、「いじめ未然防止の取組」を進めてまいります!

令和6年度 白根小学校「いじめ未然防止方針」



いじめをしない・させない  
見逃さない居心地のよい白根小



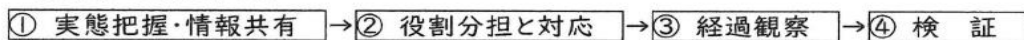
1 いじめ未然防止に向けての基本姿勢 ～私も大事・あなたも大事～

- ◆いじめをしない、させない、許さない、見逃さないという学校づくりを目指し、子どもの人権意識を高めるとともに、自分のよさを自覚し、子ども同士が互いのよさを認め合い、支え合い、高め合い、よりよい人間関係を築くことができるように見守り、指導・支援をしていきます。
- 子どもが「安心して参加できる授業」「一人一人の個性を尊重し、可能性を広げる教育活動」保護者、地域との協力体制を通して、いじめを見逃さない学校づくりに努めます。
- 教職員が、いじめに対して積極的、組織的に対応し、児童と共に解決を図ります。
- いじめの解決に向けて、外部機関との連携が必要な場合には、警察、児童相談所等の関係機関との連携を積極的に進めます。

2 組織対応の基本的構え ～アンテナを高く・複数のセンサーで!～

- ◆ 「いじめは、どの学校にも、どの学級にも、どの児童にも起こりうる」という認識にたち、担任や一部の教職員で問題を抱え込まず、全校体制により組織的に対応します。

(1) チーム(組織)で対応する。



(2) 日常的な「いじめの未然防止の取組」を推進し、早期発見、即時対応を図ります。

(3) 関係する児童及び保護者の心情に寄り添い、納得と理解、協力を得ながら対応します。

※気になったら、保護者に連絡・相談し、「先手対応」をします!

3 いじめの認知について ～いじめ見逃しゼロを目指して～

